

鹿市医狂壇



538

樋口 一風 選

兼題「運動会（うんどかい）」

天

運動会足の速え子は晴れがしつ

上町支部 吉野なでしこ

(唱) その日はっかや丸でヒーロー

(評) 勉強はあまり好きでなくても運動神経の発達している餓鬼大将が運動会の日にはヒーローでした。

徒競走は元より、棒倒し騎馬戦などは彼らの独壇場で女の子には絶対の人気で、特に紅白対抗リレーなどの応援たるや凄いものでした。それに比べて足の遅い私などは、運動会などなければよいのにと、運動会は大嫌いでした。

人

運動会親と一緒に楽しし

紫南支部 加治屋犬好

(唱) 家族中が揃って御重をば囲ん

(評) 運動会のお昼時間の食事は、年に一度家族が揃ってレクリエーションで楽しいものでした。

何段ものお重に、母や祖母が作った御馳走を、美味しく腹一杯食べたものです。もつとも徒競走の成績が良ければの話で、成績次第では父の槍玉に上がる危険性もあるが……。この子は、そこそこの成績も良かったのでしょうか。

地

運動会焼酎飲ん爺ん声は暖れ

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 頑張れ頑張れち凄ぜつか大声

(評) 最近あまり見掛けないが、昔は田舎の運動会には焼酎が付きものでした。小学校の運動会には集落対抗のリレーが、会の最後に有り、それはそれは盛り上がるものでした。学童のいない老人も年一回のレクリエーションとして遊びに行くほどでした。

此の爺さんも焼酎の力を借りて大声を出し声も「暖れ」てしまったらしい。

五客一席 紫南支部 二軒茶屋電停
熱中症対策が要つ運動会
(唱) さすが医者さあ気が行つ届つ

五客二席 紫南支部 加治屋犬好
徒競走彼女前前で転倒けつ
(唱) 恥ねも恥ね潰れた面子

五客三席 上町支部 吉野なでしこ
運動会ゴール前前で転倒けつ
(唱) 一等賞が目の前で夢

五客四席 伊敷支部 谷山五郎猫
爺婆しか居らんじ過疎ん運動会
(唱) 少子化言とで高齢者が走つ

五客五席 上町支部 吉野なでしこ
運動会出番が無かち散歩しつ
(唱) 面白ても無か運動音痴

作句道場 樋口 一風
「十月十日晴れん特異日運動会」という句がありました。この句を見て、運動会の題に、前回の東京オリンピックの、「晴れの特異日」と言う発想に驚きました。残念ながら十月十日は六音字で字余りですし、熟語を並べただけの句になり、これを「三段切れ」と言つて良くありません。鹿児島では「二百十日」と言う言い方

作句道場

樋口 一風

「十月十日晴れん特異日運動会」という句がありました。この句を見て、運動会の題に、前回の東京オリンピックの、「晴れの特異日」と言う発想に驚きました。残念ながら十月十日は六音字で字余りですし、熟語を並べただけの句になり、これを「三段切れ」と言つて良くありません。鹿児島では「二百十日」と言う言い方

曲ぎい方でせしこ分校ん運動会

佃 夢酔

ぐずついた天気が続いた揚句は台風十号。加えて、桜島の活動が盛んで、連日降灰に悩まされては、さわやかな秋とは言えそうもないけれども、時あたかも運動会シーズン。おそらく日曜日は、あちこちで運動会が開かれることだろう。

ミニ校当たりの小さな運動会は、一周しても百メートルもないようなトラックが多い。力まかせに走ると、カーブを曲がるのが大変である。「まぎい」は「曲がること」であり、「せしこ」は「あわてる」こと。

思春期ん娘は扱こ難き不器用父
(唱) 物を言かても凄ぜ気を遣こつ 井戸口 三鶴

行けば金安しもんじゃがち長電話
(唱) 金な要つてん物は考げ様 諸木 小春

何時迄も冷素麺ぬ食温暖化
(唱) 焼酎ん肴もまだ冷豆腐 中野 大八

おいお茶自分でしやいち冷て声
(唱) コマーシャルとな違こた俺家 岩元 正中

狂句募集

◎12号

題吟「掃除(そつ)」

締切 令和6年11月6日(水)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一三二六二三七
FAX 〇九九一三二五二〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp

赤け羽根い重か福祉を背負わせつ

柳田 素浪人

教授選考をめぐる袖の下が明るみに出たり、保険医の不正請求や、一流企業の脱税、黒や灰色の先生方によって牛耳られる政治。まことに淋しい話であるけれども、赤い羽根の季節がやって来た。

ただ、赤い羽根を胸にさしていいないと、気が引けるような善人たちを、待ち伏せるような、挟み撃ちをするような募金をしてほしくないと思う。関所の通行料みたいでいやである。

薩摩狂句暦

三條風雲児著 から

薩摩狂句鑑賞 177

薩摩狂句誌 渋柿八四二号雑吟から

上田 喜八郎

値は同じじゃって栄一ちゃ高値こ見せつ

(唱) 間違は無か論吉と同額よ

顔ん皮薄して政治家けなやならじ

中村 木強

(唱) 気が小こして根が正直者

亭主し内緒鼻歌が出い満期金

瀬戸口 捨六

(唱) 思め出し笑れで露見んな良か